

Q 2D 記号(システム記号/ユーザー記号)と、システム部材/ユーザー部材(単線)との違いは

A1 配置時に設定できる内容が異なります

A2 反映する接続口情報が異なります

電気シンボルは、[電気]/[機器器具]タブの 2D 記号(システム記号/ユーザー記号)と、[機器器具]タブの電気部材(システム部材/ユーザー部材)から配置ができます。どちらの部材を配置しても使用できるコマンドや属性などは基本的には同じですが、配置時に指定できる内容や登録時の情報に違いがあります。

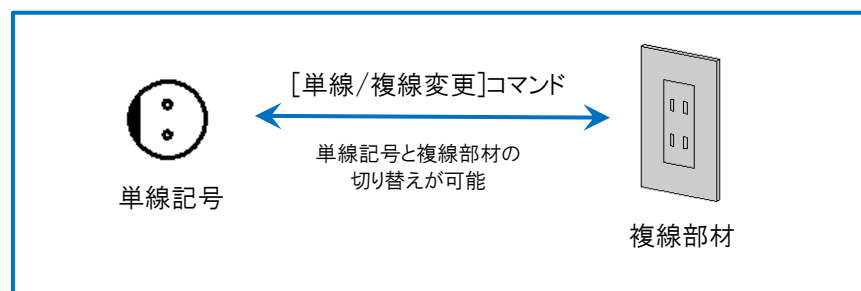
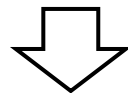
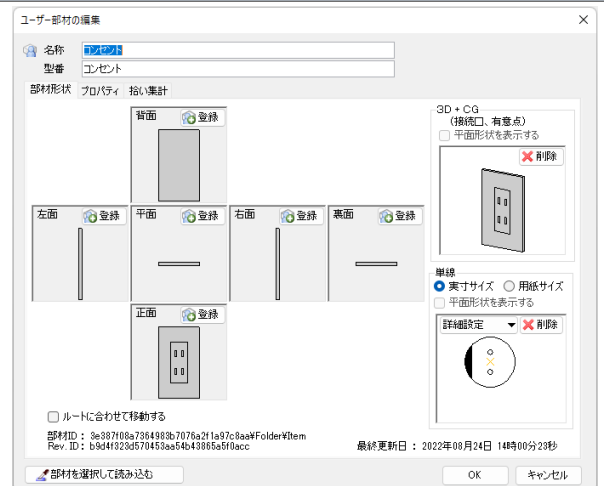
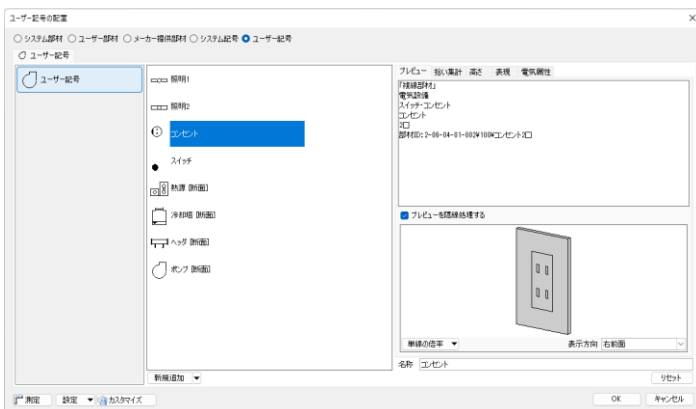
図面によって利用しやすい方を選択して配置してください。

以下[電気]/[機器器具]タブの 2D 記号(システム記号/ユーザー記号)を「2D 記号」、[機器器具]タブの電気部材(システム部材/ユーザー部材)の単線記号を「機器器具(単線)」と表記します。

2D 記号



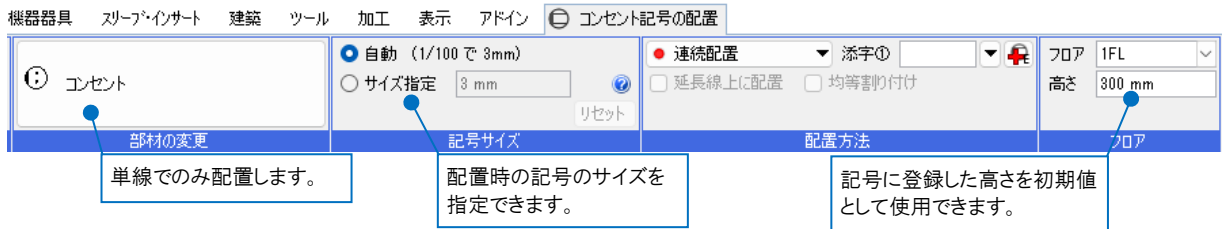
機器器具(単線)



▼A1 配置時に設定できる内容が異なります

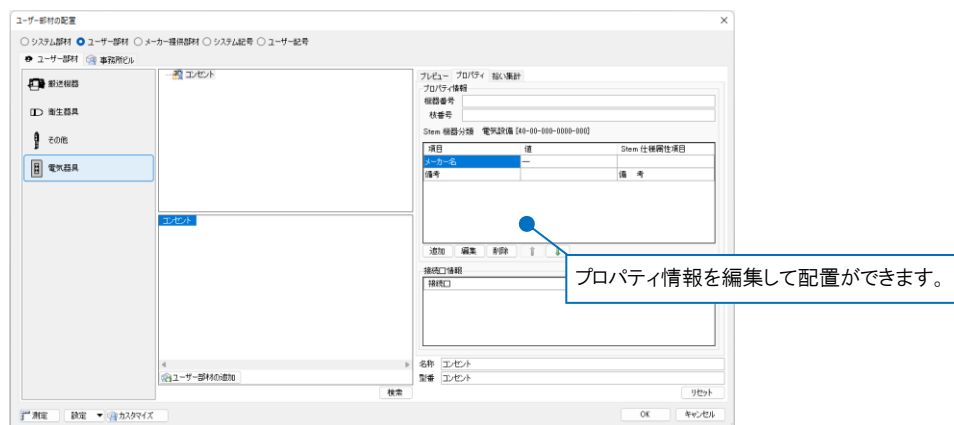
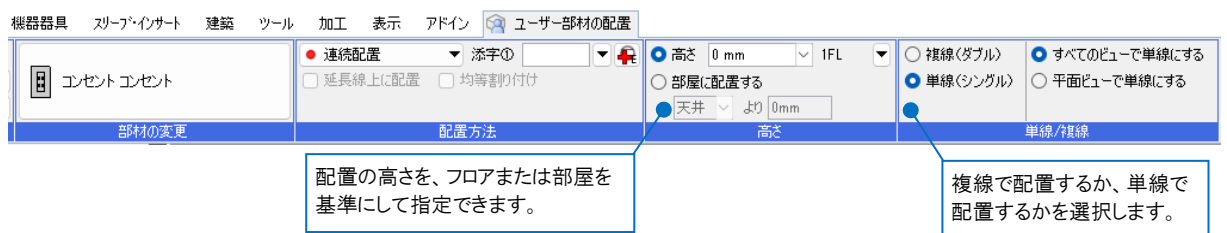
「2D 記号」

- ・単線記号で配置
- ・記号ごとに登録された高さで配置、または配置時に高さ指定が可能(配置後にもプロパティで変更可能)
- ・単線記号の大きさは、配置時に指定が可能
- ・部材の情報([プロパティ]-[部材情報])は、登録された複線部材の内容で配置(配置後にプロパティやコマンドを使用して変更可能です。)



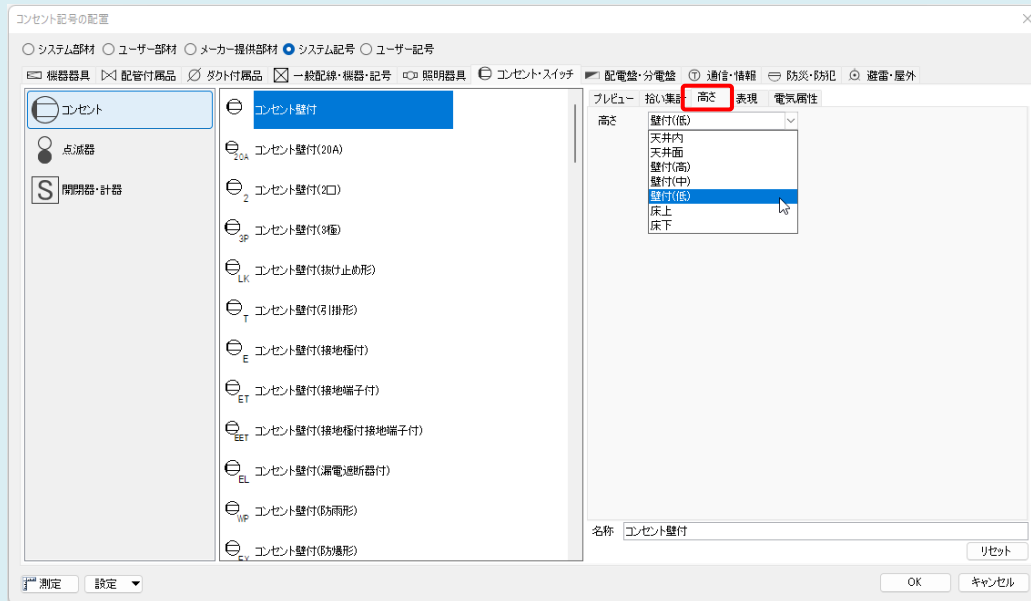
「機器器具(単線)」

- ・配置時に単線、または複線を選択して配置
- ・高さを指定して配置
- ・単線記号の大きさは、登録時の大きさを配置(配置後にプロパティで変更可能です。)
- ・部材の情報([プロパティ]-[部材情報])を編集して配置が可能

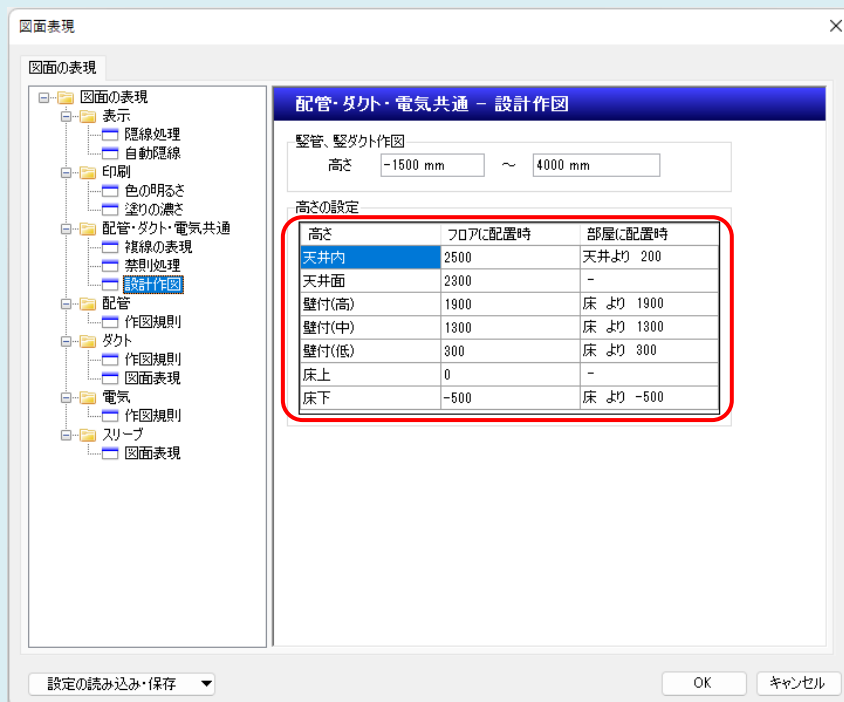


●補足説明

「2D 記号」の高さの初期値は、記号ごとに登録しています。各記号の配置ダイアログの[高さ]タブにて「天井内」「天井面」「壁付(高)/(中)/(低)」「床上」「床下」から指定します。



これらの項目の実際の高さの数値は、[表示]タブ-[図面表現]-[図面の表現]-[配管・ダクト・電気共通]-[設計作図]の設定内容が反映します。

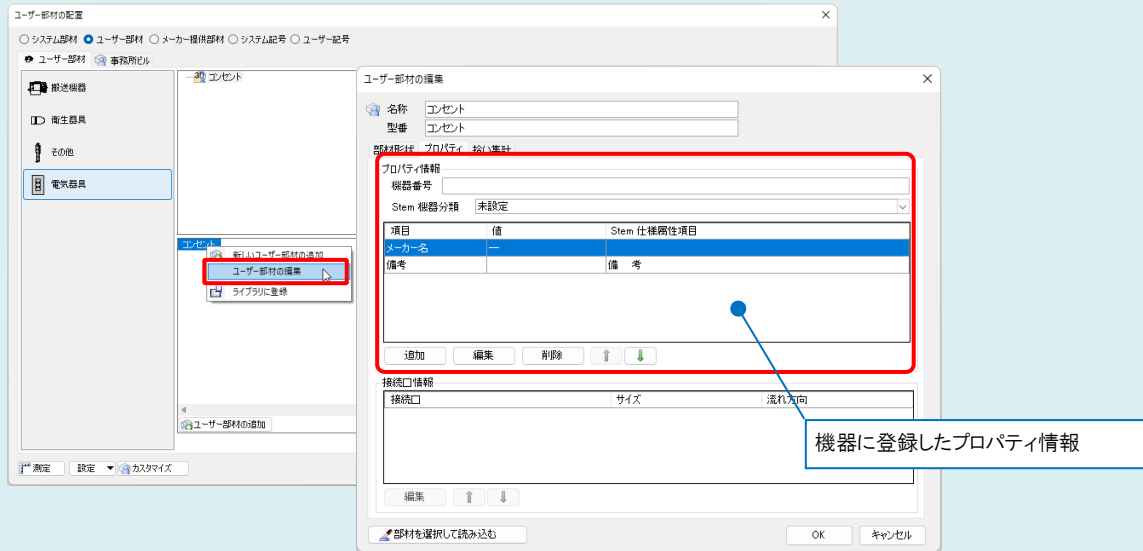


●補足説明

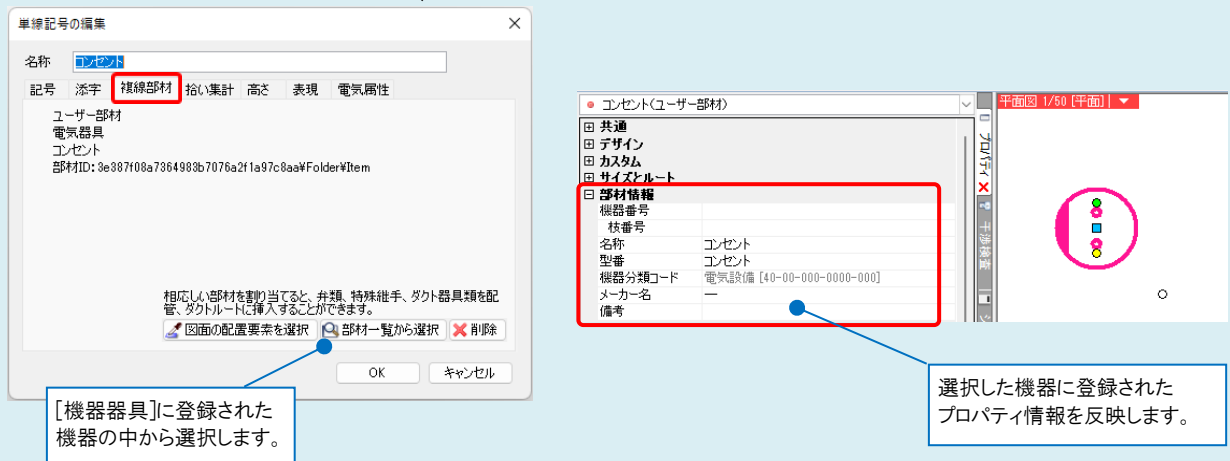
部材ごとに部材情報を付加することができます。

「2D 記号」は、記号に設定した複線部材に登録されたプロパティ情報を反映します。

機器器具



2D 記号



▼A2 反映する接続口情報が異なります

「2D 記号」「機器器具(単線)」に接続口情報が登録されていると、シンボルからルートの作図が行えます。

単線記号には電気配線用の接続口、複線部材にはケーブルや電線管など電気(3D)用の接続口を登録することができます。接続口には、「2D 記号」用の[単線記号用接続口]と、ユーザー部材用の[ユーザー接続口]の 2 種類があります。

「2D 記号」は、単線記号用接続口を反映しますが、「機器器具(単線)」の場合は、複線部材に登録した電気(3D)用の接続口も単線記号で利用することができます。

[電気]タブ-[盤▼]-[単線記号用接続口]

[単線記号用接続口]
-[電気配線用]

「2D 記号」

[機器器具]タブ-[ユーザー接続口]

[ユーザー接続口]
-[電気用(3D)]

複線部材

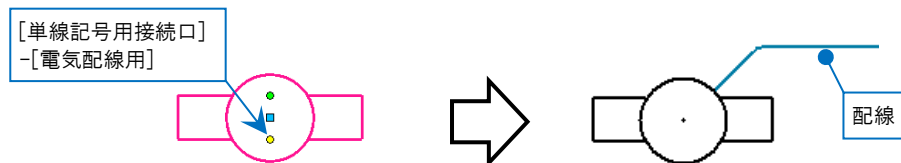
[ユーザー接続口]
-[電気配線用]

「機器器具(単線)」

「2D 記号」

[電気]タブ-[盤▼]-[単線記号用接続口]の[電気配線用]の接続口情報を反映します。

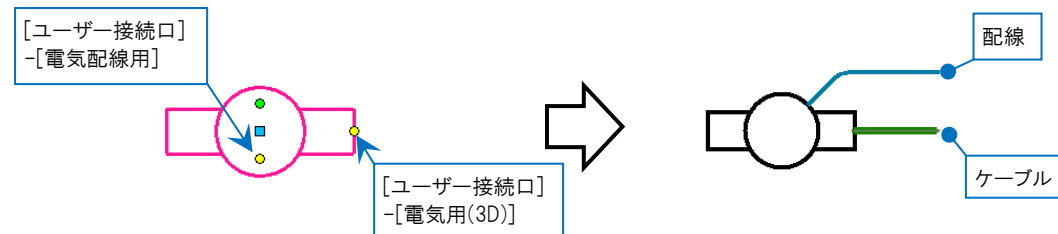
複線部材を設定していても、複線部材に登録した接続口情報([電気配線用]含む)は反映しません。



「機器器具(単線)」

単線記号に登録している[機器器具]タブ-[ユーザー接続口]の[電気配線用]の接続口情報または、[電気]タブ-[盤▼]-[単線記号用接続口]の[電気配線用]の接続口情報、

複線部材に登録している[機器器具]タブ-[ユーザー部材▼]-[ユーザー接続口]の[電気用(3D)]の接続口情報を反映します。



●補足説明

図面上に配置した「2D 記号」を「機器器具(単線)」へ変換したり、反対に「機器器具(単線)」を「2D 記号」に変換することはできません。